

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 50代	禁煙療法 (糖尿病, 高脂血症, 高尿酸血症)	0.5mg 3日間 ↓ 1mg 4日間 ↓ 2mg 16日間 ↓ 1mg 15日間	夢遊症, 意識混濁, 判断力低下	<p>投与開始日 喫煙習慣として, 喫煙本数20本/日, 喫煙期間35年。 本剤0.5mg投与開始。</p> <p>投与4日目 本剤1mgに増量。</p> <p>投与8日目 本剤2mgに増量。</p> <p>投与9日目 悪心, 腹満を認めた。</p> <p>投与14日目 多夢症, 気分変調, ぼーっとした感じが認められた。モサプリドクエン酸塩水和物の投与開始。飛び降りてもどうもない気分(はっきりとした自殺願望とは異なり, マンションやビルから飛び降りてもいいような感じ, 夢遊感, もうろう感, 無警戒な気分)を自覚していたが, 受診時にはその訴えはなし。</p> <p>投与24日目 悪心が強いとの訴えがあり。ぼーっとして反応が遅かった。本剤を1mgに減量するよう指示。</p> <p>投与29日目 診察の際に, これまでの経過の報告を受け, この時点で初めて飛び降りに関する気分(夢遊感, もうろう感, 無警戒な気分)が発現していたことが判明した。</p> <p>投与39日目 (投与中止日) 悪心, 動悸が残っていたため, 本剤投与中止。</p> <p>中止2日後 夢遊感, もうろう感, 無警戒な気分は回復していることを確認した。 ぼーっとした感じ, 悪心, 腹満は本剤中止後2~3日で改善。</p>
併用薬: ポグリボース, プラバスタチンナトリウム, アロプリノール, モサプリドクエン酸塩水和物					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 50代	ニコチン依存 (心筋虚血, 不 眠症, 慢性膵 炎, 心筋梗塞)	0.5mg 3日間 ↓ 1mg 4日間 ↓ 2mg 56日間	うつ病, 異常行動 投与7日前 投与開始日 投与4日目 投与8日目 投与9日目 投与16日目 投与21日目 投与30日目 投与31日目 投与44日目 投与57日目 投与61日目 投与64日目 (投与中止日) 中止2日後 中止3日後 中止4日後 中止7日後	喫煙習慣として, 喫煙本数20本/日, 喫煙期間38年。 ニコチン依存症の治療を開始。 本剤0.5mg投与開始。CO濃度は31ppmであった。 本剤1mgに増量。 本剤2mgに増量。この日より禁煙を開始。(投与開始日からの喫煙は10本/日以内。) 手の甲からタバコ臭を感じた。 夢の異常や食欲不振はなし。 喫煙(2本)したが, おいしくなかった。 CO濃度は1ppmであった。 喫煙(2本)したが, おいしくなかったとの訴えあり。 間食が増えたとの訴えあり。CO濃度は1ppmであった。 間食が増えたとの訴えあり。夢の異常は認められなかった。CO濃度は1ppmであった。 自己臭(タバコ臭)を強く感じ, 部屋中に臭いが立ち込めると感じて, 不安になった。孤独感が強くなり, 知人に電話し意味不明なことを発言。 体調不良にて昼食後に帰宅。自己判断により, 本剤の服用中止。 本剤の服用中止後, 不眠が続きほとんど眠れなかった。 朝トイレの便器に小動物(カマキリかキリギリス)がいるのが見えた。看護師に相談し, 午前中に精神 科を受診。ペルフェナジンマレイン酸塩の投与を受け, 1回分内服した。その後, 机で2時間ほど睡眠 をとった。目覚めてからじっとしていらなくなり, 自転車で80分走った。(普段から20分程度走ることが あった。)途中でタバコを買い5本喫煙した。 夕方ごろ知人と話している間に意識消失し, 暴れ出した。緊急に病院へ搬送されたが, 記憶になかっ た。 深夜に目覚め, 入院していることを知った。その後, 朝まで睡眠をとった。午前中に診察を受け, 搬送 先の病院を退院。その後, 精神科を受診し, ペルフェナジンマレイン酸塩の投与が中止となり, ニトラゼ パム5mg, ミアンセリン塩酸塩10mgへ変更。 本剤の処方医療機関を受診し, 本剤による禁煙補助を中止。 行動異常, 幻視, タバコ臭は回復(時期は不明)。

併用薬: アスピリン, ゾルピデム酒石酸塩, オキサトミド